

教育委員会表彰

3月9日(土)に森町文化会館で教育委員会表彰があります。これは、町の教育、他文化の振興に功績のあった個人・団体を表彰するものです。小中学生の場合は、スポーツや文化の面で輝かしい成績を収めた子どもたちが対象となります。

今回、本校からも5名の児童が表彰されます。子どもたちにとって、大きな励みになるものと思います。保護者の皆様には様々なところで支援していただきありがとうございました。



【森町教育委員会表彰を受ける子】

学年	氏名	表彰される理由
5年	幸田穂奈美	人権ポスター 「最優秀賞」
5年	深田 幸花	学校給食用牛乳の普及啓発ポスターコンクール 小学校高学年の部「優秀賞」
6年	山崎 綾莉	静岡県地震防災ポスターコンクール 小学校の部「優秀賞」
6年	鈴木 天音	静岡県幼少年女性防火委員会防火ポスター 少年の部「銀賞」
6年	鈴木 那奈	国際理解・国際協力のための静岡県小・中・高校生ポスターコンクール 「静岡県教育長賞」



HQ＝人間性知能の発達が“意欲 “や”思いやり” を育てる!!

先日、TV「ホンマでっか!?TV」(フジテレビ)等に出演している「武蔵野学院大学教授 澤口俊之氏」の「脳科学からいじめを斬る」というテーマの講演を聴く機会がありました。とても興味深い講演でしたので、その内容の一部を紹介します。

澤口氏は、「明確なビジョンとぶれない信念」「あきらめずに道を切り開く気概」「他者のありがたみを知ること」「相手の立場を意識した行動」が人間として必要な知能であり、それを HQ＝人間性知能と呼んでいました。

最近の調査結果では、HQ は、脳の中の前頭前野（脳の前の部分）で育てられ、学校で学ぶ、国語・算数・音楽・体育・理科・社会などの教科では、育たないということでした。

そして、前頭前野を事故で失った人を例にとり、前頭前野部分の大切さを説明されました。前頭前野を失うとどうなるか？その人は、前頭前野を失う前は、作業現場の監督として多くの人から信頼され、理性的でとても穏やかな人間だったそうです。しかし、前頭前野を失ったことにより、とても暴力的で、本能のままに行動する人間になってしまったそうです。つまり、前頭前野を失うと「将来の夢や計画性」「理性や思いやり」「やる気や集中力」「好奇心や探究心」「主体性や独創性」を失うのだそうです。

このことから、いじめを起こす人間（思いやりに欠ける人間）は、前頭前野が育っていない、あるいは一部分が欠けている可能性があるということです。実際に、反社会的行動をした人の脳の画像を撮ってみると、前頭前野の部分が委縮していることが多いのだそうです。そういう人は、場合によっては人を傷つけることによって快感すら感じてしまうことがあるそうです。

では、どのようにすれば前頭前野を育てられるのでしょうか？いくつかの方法を紹介してくれました。

- ・いくつかの数字を順番に見せる。それを、逆から順番に答えさせる。
- ・ピアノの練習。
- ・努力したことをほめる。能力をほめてはいけない。
- ・父親と遊ぶ。(7歳以降) etc

それ以外にも、澤口氏の著書「能力道場」「澤口式育脳法」などに紹介されているようです。

まだ、一部の学者たちが言っていることで、あまり学会の中で認められているとは言えないと語っていましたが、私は、澤口氏の著書を読んでみようという気持ちになりました。皆さんは、いかがですか？

